

若あゆと古代ロマンの里

山形県立新庄養護学校 義高 互

1 特徴

この作品は、町内の生徒、保護者や学識者、教育委員会の意向を受けて教育委員会後援のもとに制作した、舟形町や山形県の自然・歴史・文化を総合的に現したものである。

町の自然・文化・歴史に詳しい教員退職者や長老方のお宅に通い助言をもらいながら、町の山河を歩き回って取材した。

自然分野では町で生息している動植物を、絶滅危惧情報も含め可能な限り網羅した。制作に3年余りの時間をかけたのは遺跡再現である。手書きの現在地形図しか存在していない舟形町の200m級中世城址「猿羽根館」跡を現地で単身実測を重ね、文献と照らし合わせてデジタル解析し初の3D再現を行い700年前の館(城)の姿を再現した。また10年以上前に発掘記録を残して道路下に埋もれた町内の縄文遺跡「西の前遺跡」をCG再現して、自在に3D世界を人型縄文土器として歩き回れるようにした。

2 内容

自然では植物の舟形町で生息を確認した100種類以上の情報や現地で撮影した写真をのせ、野鳥や両生類の情報、絶滅危惧のレッドリストを載せて環境問題の啓発も考慮している。町内を4地区に分け生息確認地区ごとに植物を見られる。また植物と両生類の写真はすべてに虫眼鏡や水紋が立つなどのプログラムを組み込み、臨場感を持たせて使用者の関心を高めている。地域の項目では人工衛星ランドサットの衛星写真を自在に扱えたり、山形県内を最上川舟下りで3DCGウォークスルーができたり、町内の小国川を横断できる。

また町内の史跡と歴史の流れ、地理的拠点の流れをリンクさせながら町内をウォークスルーする場面を作り歴史・地理・史跡を統合して考える場面も設定した。その他にも一画面内で地域や文献CGなど各要素を同時に検索して見比べることができるなどの検索機能も強化した。学習の利用者は主に舟形町内の小中学生で、小学校の



社会科「地域を学ぶ」や理科で地域の植物を調べる項目から中学校の社会で地域と日本の歴史の関連から環境問題、理科の生物分野の利用まで幅広く利用できるよう考え、広範囲に検索できるよう資料数もそろえている。

町のデジタルアーカイブとして中央公民館に設置しているPCなどでも使う構想もあるので、中高生や大人も利用して知識欲を満足させることも想定しており、一部小学生には難しい内容も含む。

3 実践結果・内容

まだ完成して間もなく、本格的な授業の実践記録や評価はこれから集約する。

小学生に利用してもらったところ、テレビゲームやPC等に慣れていて予想以上にたちまち操作ができた。男子は3Dのウォークスルーや「ひとやすみ」などに関心を示すことが多かった。広い分野と範囲を収録しているので、調べる目的、学習のめあてを明確に提示することでこのソフトの検索機能と収録資料による学習効果が生かせる。町内に住んでいても町をよく知らない小学生が多く、「ここはどこ」と見ている場面も多くあった。